

令和 8 年笛吹市議会第 2 回定例会

令和 8 年笛吹市議会第 2 回定例会の開会に当たり、提出した案件につきまして、その概要を御説明申し上げますとともに、前回定例会以降の行政運営の状況について申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に御理解を賜りたいと存じます。

はじめに、令和 8 年 4 月 1 日にリニューアルオープンした、いちのみやももの里温泉についてです。

本市の重要な資源である「温泉」の力を改めて見つめ直し、多様な地域資源と掛け合わせ市の魅力を高めていくとの考えの下、「風林火山」をコンセプトに市営温泉 4 施設の改築、改修を進めています。

いちのみやももの里温泉は、「林」をテーマに「静寂」「癒やされる空間」を追求し、桃源郷の中にある秘湯を目指して改築を行いました。

オープン以降、多くの利用者から新しくなった浴槽やサウナはもちろん、駐車場に設置した東屋から望む笛吹市の一面が、桃の花でピンク色に彩られた風景も大変好評をいただいています。

利用状況について、オープンから 5 月末までの延べ利用人数は、11,896 人となり、改築前の令和 5 年の同時期が 9,585 人であったのに対し、24 パーセント増加しています。

四季折々の自然を感じ、心から癒される空間となるよう整備しましたので、多くの皆様に御利用いただきたいと思います。

次に、第 21 回笛吹市桃の里マラソン大会についてです。

令和 8 年 4 月 5 日、満開の桜と桃の花が咲く中を、沿道からの声援を受けた 2,868 人のランナーが走りました。

ゲストランナーには、男子マラソン日本代表として 2019 年世界陸上選手権をはじめ 6 つの世界大会に出場した川内優輝さんをお迎えしました。

川内さんは、ハーフの部に出場され、笛吹市が誇る「日本一の桃源郷」を大勢のランナーと共に走り、桃の花が咲く美しい景色や温かい応援に大変感激されていました。その後も、表彰式のプレゼンターとして、大会を盛り上げていただきました。

来年度は、大会前日のプレイベント開催や、マラソン大会と連動した観光ツアーなど、本市の豊かな自然や温泉の魅力を活かし、市内の宿泊につながる企画の実施を検討します。引き続き、更なる参加者の増加とともに、本市の魅力発信に取り組んでいきます。

次に、FUJIYAMA ツインテラスについてです。

令和 8 年 4 月 20 日にオープンした FUJIYAMA ツインテラスとエントランス施設「Lily

Bell Hütte」は、ゴールデンウィーク期間中には4,000人以上の方が訪れるなど、多くの利用客で賑わいました。

今年は、FUJIYAMA ツインテラスがオープンから5年を迎えることから、FUJIYAMA ツインテラス専用バスの往復乗車料金をオープン5周年記念特別価格として、富士山が眺望しやすい5、8、10、11月は、市外の大人を1,500円、3歳から12歳を子供として750円、その他の4、6、7、9月は、市外の大人を1,000円、子供を500円とするなど、これまでより利用しやすい金額としました。なお、市民の皆様は、これまでと同じく大人を500円、子供を250円としています。

また、観光消費の拡大を図るため、食事処「沢妻亭」と連携し、店舗でFUJIYAMA ツインテラス専用バスチケットを提示することで、食事代を割引するキャンペーンも実施しています。

今後も、ますます多くの方がFUJIYAMA ツインテラスを訪れ、本市の魅力を知る契機となるよう、取組を進めていきます。

次に、ほたる祭りの開催についてです。

令和8年6月13日から21日まで、八代四ツ沢川砂防公園において、ほたる祭りが開催されます。

稲山ほたる銀河の会の皆様が、公園内の水路をホタルが住める環境として整え、全長約1キロメートルにわたる水路の上を、大切に育てられたゲンジボタルが、淡い光を放ちながら飛び交う姿は、訪れた方を幻想の世界へと誘います。

皆様にも、この光景を御覧いただきたいと思います。

次に、こども誰でも通園制度についてです。

令和8年4月から、保育所等での集団生活など家庭だけでは得られない経験を通じた子供の成長を支援することを目的に、0歳6か月から満3歳未満の未就園児を対象とした「こども誰でも通園制度」がスタートしました。

保護者の就労状況に関わらず、毎月一定時間まで保育所等が利用できる制度で、本市においても、4月末時点で延べ19人の利用がありました。普段は家族と過ごす子供が、保育所等で年齢の近い子供や保育士をはじめとした家族以外の大人と触れ合い、新しい環境でいきいきと遊ぶ姿が見られています。

次に、英語力向上推進事業についてです。

小中学校における英語の授業の補助を行う英語指導助手のALTは、これまで約10人の体制をとり、一人が複数の学校を兼任するかたちで授業を進めてきましたが、令和8年4月1日から、フィリピンの語学学校で英語講師としての経験を持ち、英語教育の優れた指導能力を有した質の高い22人のフィリピン人ALTを市内全ての小中学校へ配置しまし

た。ALT は英語の授業だけにとどまらず新しい取組を開始しており、小学校においては、算数の授業に加わり、英語で数字の発音を伝えたり、給食の時間には、児童と一緒に英語で会話を楽しみながら食べたりと、授業以外でも英話に触れ、身近に慣れ親しむ機会が増えるよう、積極的に児童と関わっています。

中学校においては、英語の授業中に日本語を使わず、英語のみでの学習をスタートしました。初めは日本語を使わないことに戸惑っていた生徒も、少しずつ英語に慣れ、英語を集中して学ぶ時間として前向きに取り組む姿勢が見られています。

今後は、英会話による実践的な英語を学ぶ放課後英会話教室、英検を受験する児童生徒の学習をサポートする英検対策講座を実施するほか、夏休み等長期休暇期間における学校施設での日帰りイングリッシュキャンプといった新たなプログラムなど、ALT を活用した取組により、児童生徒の英語力向上を推進していきます。

次に、令和 8 年 4 月 1 日から利用期間が始まったハートフルタウン笛吹 市民生活応援商品券についてです。

5 月 25 日時点で商品券総発行枚数の約半数の利用があり、多くの皆様に御利用いただいている状況です。

また、多くの事業所で商品券が利用できるよう、利用開始後も取扱事業所の登録件数の増加に取り組み、利用開始前の 3 月末時点から約 200 件増え、5 月末時点で約 700 件となっています。また、市の広報紙 6 月号に合せて、取扱事業所の一覧表を全戸配布するとともに、市のホームページでは、新たな取扱事業所の情報を随時更新しています。

利用期限は令和 8 年 7 月 31 日までとなっていますので、それまでに御利用いただきたいと思います。

次に、文化施設整備検討事業についてです。

令和 7 年 8 月に取りまとめた「笛吹市文化施設の在り方と整備の方向性」に基づき、市立美術館の整備について、一宮町地内の既存施設の活用を軸に候補となる施設の選定を進めた結果、施設の規模や駐車場、周辺公共施設等の連動性を踏まえ、市立美術館として整備する施設を市役所一宮支所とすることを決定しました。今年度は、具体的な整備内容の精査に着手し、入居団体との調整、地域や関係団体への説明等、整備計画の具体化を図っていきます。

令和 8 年 6 月 12 日

笛吹市長 山下 政樹